

胸部・心臓血管外科

1. 胸部・心臓血管外科の理念・特色

但馬、丹後地域における唯一の心臓血管外科・呼吸器外科である。当科は昭和 27 年に呼吸器科として発足し、結核の内科・外科治療を行ってきました。しかし結核患者の減少に伴い、心臓外科領域にも対応するようになり、昭和 42 年に心室中隔欠損の手術に成功し、以後 50 年を経過している。この患者はその後 3 人の母となり現在もお元気に生活されています。平成 29 年より胸部・心臓血管外科と名称変更し、心臓血管外科医 3 名、呼吸器外科医 2 名が在籍し心臓・大血管・末梢血管・肺・縦隔・胸壁の疾患に対応しています。少ない人員ですが、許せる限り 24 時間体制で緊急手術にも対応しています。当科の方針は、時流に惑わされることなく遠隔期を考慮した術式を確実にを行い、生命予後、身体能力の改善を目指すことを旨としています。

但馬地方の人口は 65 歳以上の高齢者率 33.5%(全国平均 26.6%)、75 歳以上の後期高齢者率 18.5%(全国平均 12.8%)と高齢者が多く住んでいる地方です。したがって、患者の身体的活動力、病気の重症度、合併疾患は様々です。近隣医療機関より当科または循環器内科、呼吸器内科へ紹介されてきますが、常に手術が唯一の治療手段と考えるのではなく、患者の活動能力・希望に沿って厳重に外来での観察を続け手術時期・適応を模索することもあります。患者の要望、私たちに出来ることを家族とともに話し合いながら治療にあたります。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通じて地域医療をささえ国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャルティ領域(心臓血管外科、呼吸器外科)またはこれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

イ. 経験できる診療、技術

- ・虚血性心疾患: 労作時狭心症、不安定狭心症、心筋梗塞、左室瘤、虚血性僧帽弁逆流、虚血性心筋症
- ・弁膜疾患: 大動脈弁狭窄、大動脈弁逆流、僧帽弁狭窄、僧帽弁逆流、三尖弁逆流
- ・その他の心疾患: 心臓腫瘍、心房中隔欠損、心房細動
- ・大動脈疾患: 胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、急性大動脈解離
- ・末梢血管: 閉塞性動脈硬化症、末梢血管の動脈瘤、バージャー病、下肢静脈瘤、内シャント造設、内シャント狭窄

- ・肺疾患: 原発性肺癌、転移性肺癌、良性腫瘍、肺嚢胞、気胸、肺化膿症、膿胸
- ・縦隔: 縦隔腫瘍、重症筋無力症
- ・胸壁: 中皮腫、胸壁腫瘍、漏斗胸、胸壁外傷
- ・その他の疾患: 手掌多汗症

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝						
午前	手術 (心臓・大血管)	手術 (呼吸器外科・血管)	手術 (心臓・大血管)	外来	外来 ・ 血管造影 ・ 血管内治療	
午後					病棟カンファレンス	
					症例カンファレンス	
時間外	ICU術後管理		ICU術後管理	内科合同 カンファレンス (循環器・呼吸器)		

4. 指導医・スタッフ

医師名	那須 通寛 / NASU, Michihiro / S54 卒
役職名	副院長 兼 部長
専門	心臓血管外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人 日本外科学会 専門医 ・ 三学会構成心臓血管外科認定機構 心臓血管外科専門医 ・ 心臓血管外科専門医認定機構 修練指導者・専門医

医師名	阪口 全宏 / SAKAGUCHI, Masahiro / S60 卒
役職名	部長
専門	呼吸器外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人 日本外科学会 指導医

	<ul style="list-style-type: none"> • 特定非営利活動法人 日本呼吸器外科学会 専門医
--	---

医師名	田中 仁 / TANAKA, Jin / H1 卒
役職名	部長
専門	心臓血管外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> • 特定非営利活動法人 日本胸部外科学会 認定医 • 一般社団法人 日本外科学会 認定医 • 三学会構成心臓血管外科認定機構 心臓血管外科専門医

医師名	平野 竜史 / HIRANO, Ryuji / H1 卒
役職名	部長
専門	呼吸器外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> • 一般社団法人 日本外科学会 外科専門医

医師名	井内 幹人 / INOUCHI, Mikito / H16 卒
役職名	医長
専門	心臓血管外科
認定	<ul style="list-style-type: none"> • 一般社団法人 日本外科学会 専門医 • 一般社団法人 日本脈管学会 専門医 • 腹部大動脈ステントグラフト指導医 • 胸部大動脈ステントグラフト指導医

5. 診療設備

バイプレーンアンギオ装置 フィリップス Allura Clarity FD20/15

超音波診断装置 フィリップス EPIQ7(生理検査室)

移動型汎用型X線透視装置 GE ヘルスケア OEC9900EliteMD

全身用X線 CT 診断装置 東芝メディカル Aquilion ONE

6. 診療実績

心臓・大血管症例数

	2014年	2015年	2016年
大動脈解離	9	6	8
心筋梗塞・狭心症	15	18	26
弁膜症	27	27	30
胸部大動脈瘤	5	7	8
大動脈損傷	0	0	3
その他	3	1	3
合計	59	59	78

心・大血管手術手技数

	2014年	2015年	2016年
冠動脈バイパス	21	26	36
弓部置換	5	4	6
基部置換	4	2	4
上行置換	12	6	12
大動脈弁置換	18	17	17
僧帽弁置換	5	4	7
三尖弁形成	10	5	13
僧帽弁形成	3	8	10
メイズ手術	5	4	2
胸部ステントグラフト内挿術	5	9	8
その他	3	2	4
合計	91	87	119

末梢血管手術数

	2014年	2015年	2016年
下肢血行再建バイパス術	6	6	9
下肢血行再建血管内治療	7	7	9
腹部大動脈ステントグラフト内挿術	15	22	22
腹部大動脈人工血管置換	11	3	1
血栓摘除術	1	5	8
内シャント血管内治療	17	27	35
内シャント作成術	19	14	21

下肢静脈ストリッピング	38	37	47
腹部血管塞栓術	15	20	14
合計	129	141	166

呼吸器外科手術数

	2014 年	2015 年	2016 年
気胸・肺嚢胞	13	21	17
原発性肺癌	28	41	26
転移性肺癌	6	5	6
肺良性腫瘍	3	3	2
肺膿瘍	3	1	1
縦隔腫瘍	1	0	0
その他	0	1	1
合計	54	72	53

7. 主な業績

【学会発表】

「乳癌術後の化学療法中に感染性大動脈瘤をきたした 1 例」

井内 幹人・平野 竜史・那須 通寛

第 43 回日本血管外科学会 平成 27 年 6 月 3 日～4 日 於:横浜市

「TEVAR+Y-graft replacement 術後に慢性 DIC から両下肢多発筋肉内血腫をきたした 1 例」

井内 幹人・田中 仁・平野 竜史・那須 通寛

第 56 回日本脈管学会 平成 27 年 10 月 28 日～31 日 於:東京

8. 学会認定施設

- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ・呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設
- ・関連 10 学会構成胸部ステントグラフト実施施設
- ・関連 10 学会構成腹部ステントグラフト実施施設

9. 連携するプログラム

- ・三重大学医学部附属病院外科専門研修プログラム

基幹施設:三重大学医学部附属病院

基本コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	専門研修連携施設(外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科)											
	日本外科学会入会・外来研修1回/週程度・該当科での救急当直3回/月程度											
	目標経験症例120例以上(うち術者40例以上)											
2年目	三重大学病院(基幹施設)						地域連携施設					
	消化管	肝胆膵	心臓血管	呼吸器	小児	乳腺						
	日本外科学会定期学術集会への参加・外来研修1回/週程度・該当科での救急当直3回/月程度											
3年目	専門研修連携施設						選択研修(将来のサブスペシャリティーを考慮して選択)					
	外来研修1回/週程度・該当科での救急当直3回/月程度											
	目標経験症例350例以上(うち術者120例以上)、学術発表など20単位以上											
学術活動:1年間に4回以上の学術集会へ参加、年間2回以上の筆頭者での学会発表または論文発表を目標とする。												

大学院コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	専門研修連携施設(外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科)											
	日本外科学会入会・大学院入学・外来研修1回/週程度・該当科での救急当直3回/月程度											
	目標経験症例120例以上(うち術者40例以上)											
2年目	三重大学病院(基幹施設)						地域連携施設					
	消化管	肝胆膵	心臓血管	呼吸器	小児	乳腺						
	日本外科学会定期学術集会への参加・外来研修1回/週程度・該当科での救急当直3回/月程度・大学院での研究を並行して行う											
3年目	専門研修連携施設						大学院で専任研究					
	外来研修1回/週程度・該当科での救急当直3回/月程度・大学院での研究を並行して行う											
	目標経験症例350例以上(うち術者120例以上)、学術発表など20単位以上											
学術活動:1年間に4回以上の学術集会へ参加、年間2回以上の筆頭者での学会発表または論文発表を目標とする。												

外科サブスペシャリティー領域展開コース

(例:心臓血管外科分野)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	専門研修連携施設(外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科)											
	日本外科学会入会・日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本血管外科学会の入会が望ましい 外来研修1回/週程度・該当科での救急当直3回/月程度											
	目標経験症例120例以上(うち術者40例以上)											
2年目	三重大学病院(基幹施設)						地域連携施設(外科・心臓血管外科)					
	消化管	肝胆膵	心臓血管	呼吸器	小児	乳腺						
	日本外科学会定期学術集会への参加・外来研修1回/週程度・該当科での救急当直3回/月程度											
3年目	専門研修連携施設・基幹施設(心臓血管外科)											
	外来研修1回/週程度・該当科での救急当直3回/月程度											
	目標経験症例350例以上(うち術者120例以上)、学術発表など20単位以上											
学術活動:1年間に4回以上の学術集会へ参加、年間2回以上の筆頭者での学会発表または論文発表を目標とする。												

プログラムに関する問い合わせ先:

〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174 三重大学医学部附属病院

外科専門研修委員会委員(担当:飯澤祐介 助教)

電話:059-231-5019

FAX:059-232-8095

e-mail: uskm007@clin.medic.mie-u.ac.jp

Website: <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> (申請書のダウンロードできます。)

資料請求先:

〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174 三重大学医学部附属病院

新外来棟 5階 専門医研修支援センター(担当:小川)

電話:059-231-5529

FAX:059-231-5114

e-mail: iryousien-t@clin.medic.mie-u.ac.jp

Website: <http://www.doctor-mie.jp>

・兵庫京大外科専門研修プログラム

基幹施設: 神戸市立医療センター中央市民病院

公立豊岡病院での研修モデル

1年目	2年目	3年目	
公立豊岡病院(メイン施設)		中央市民病院 (基幹施設)	・県立尼崎総合医療センター ・姫路医療センター ・西神戸医療センター ・神鋼記念病院 ・神戸市立西市民病院 ・赤穂市民病院 (連携施設)
	・県立尼崎総合医療センター ・姫路医療センター ・西神戸医療センター ・神鋼記念病院 ・神戸市立西市民病院 ・赤穂市民病院 (メイン施設)	中央市民病院 (基幹施設)	公立豊岡病院(連携施設)
	中央市民病院(メイン施設)		公立豊岡病院(連携施設)

サブスペシャルティ研修

プログラム・資料請求に関する問い合わせ先:

〒650-0047 神戸市中央区港島南町 2丁目 1-1

神戸市立医療センター中央市民病院庶務課

電話:078-302-4321

FAX:078-302-7537

Website: http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident/medical